

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	福祉総務課長	中野 さつき
健福-04	実施事業	福祉センター管理運営事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 福祉総務課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。
効果	利用者の利便性向上のため、施設の適切な管理を行う。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	51,573	39,085	当初予算(千円)	51,327
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	4,502	4,701	その他	6,393
	一般財源	47,071	34,384	一般財源	44,934
	人員配置数	0.9	0.5	人員配置数	0.5
人件費(千円)	7,189	4,127	人件費(千円)	4,046	
事業経費運営	総事業費(千円)	58,762	43,212	総事業費(千円)	55,373
	市民1人当りの経費(円)	333	245	市民1人当りの経費(円)	314
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業内容の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 施設管理上必要な総合管理委託業務及び、施設老朽化に伴う必要な維持修繕を行うため、事業内容及び予算規模は現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・福祉センターにおける施設の保守管理料等維持管理費について、施設利用事業者から、適切な受益者負担を求めた。また、施設を有効活用しパネル広告料の収入確保を行った。引き続き、様々な角度から収入確保策を検討しながら、施設管理を行う。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	・緊急性や重要性を判断し、適切な時期に必要な修繕を行い、効率的な施設管理を行う。
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・音声案内付触知板の設置や施設維持に必要な機械修繕など、市民の利便性向上のため、優先度を設けながら、計画的に施設修繕を行った。
未解決の課題、新たな課題とその理由	・施設の老朽化も進んでいることから、緊急性や重要性を判断し、適切な時期に必要な修繕を行い、新型コロナウイルス感染症対策を含め、効率的な施設管理を引き続き行っていく。

- 解決
 一部解決
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	福祉会館の所有者(上段)及び管理者(下段)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	平塚市	茅ヶ崎市			
他市実績	市	市	市	市	市			
	市	市	指定管理者	指定管理者	指定管理者			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	福祉会館の運営方法は、直営や指定管理など各市様々である。 本市の福祉センターの運営方法についても、他市の状況を鑑み検討していく必要がある。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向	備考					
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--